令和元年度　学校研究に係る研修会

１月２０日（月）、学校研究に係る研修会が行われました。講師に福島県特別支援教育センター指導主事　林裕子氏を迎え、新学習指導要領において、教科指導と各教科等を合わせた指導の重要となる事項について御講義いただきました。

先生方同士で「主体的な学びとは？」などと話し合いをしながら拝聴し、授業作りにおいては学習指導要領を基に、何を学ぶか明確にして学習内容を設定すること、育成を目指す資質・能力を基に目標を設定すること、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて単元や題材のまとまりをデザインすること、自立活動の時間における指導と各教科等における指導との密接な関連を保つことが大切であることを学びました。とくに、学びは児童生徒の中にあるという話を伺い、児童生徒が「学びたい」と思うような授業作りを心がけていきたいと思いました。